

年に1度!

# クリスマス・お正月用品の

予約がはじまります!

## 生活クラブのクリスマス・お正月用品（通称 クリ正）の消費材ってすごいです!

「クリ正はどうして11月に予約するの?」そんな声をよく聞きます。「年末年始は家にいないので、予約はちょっと・・・」そんな声もよく聞きます。組合員歴の長い方でも、「クリスマス・正月用品だけは食べたことがない」という声もあります。でもこれだけは伝えたい!「クリ正の消費材は、本当にすごいです!」



何がすごい??

### ♥高品質をいつもの適正価格で!

早めに予約することで、生産者が計画的に材料の調達ができるので、廃棄ロス分の価格の上乗せをしないで済みます。また長期保存するための添加物や保存料を使わないのも、安心安全な高品質の良さをクリ正用品でも実現してくれます。

### ♥年末年始の時期にしか手に入らない消費材も!

クリスマス・お正月にこだわらず、冷凍庫、パントリーに置いておけば、日常のあと一品として、急な来客にも使えること間違いなし!

### ♥時短メニューに最適!

手抜きじゃない!生活クラブクオリティーにもかかわらず簡単に調理できるものもたくさんあります。それだからこそ、おおぜいの人に知ってもらい、試食して、予約してほしいのです。



試食会って何をやるの?

今年もあなたの地域の commons・デポーで試食会を開催します。日程は各 commons・デポーのニュースなどでご確認ください。



注文する前に試せてよかったわ。

試食会で味も品質も確かめてね!

ひとりでも楽しめる試食会です。

試食会では新規品を中心に、おススメの消費材を実際に食べてみて、カタログの写真や表示だけではわからない、味・サイズを確かめることができる上に、おいしい調理法・アレンジの仕方など、直接組合員の口コミを聞くこともできますよ。

年末年始の特別な食卓に、ちょっと豪華な食材を1つ取り入れてみるのはいかがでしょうか?市販品との違い・優位性を学び、素性の確かな食材を選ぶことが大切です。自分の目で見て、試食して、お気に入りのものを見つけてください。(理事 土肥 美穂)

# すすき野デポ

## リニューアル第一基準達成!



今年3月からスタートしたすすき野デポ・リニューアル活動も7月末に第一次基準の50名拡大を達成しました。シンボルである「リニューアルの木」のリンゴもたわわに実り、充実した活動の成果なのだなあと実感しています。また、地域の人に「すすき野デポ」を知ってもらいきっかけとなる「夏祭り」を開催し、子どもたちはヨーヨー釣りを楽しんだり、チラシを見た地域の方たちも焼きそばやかき氷に舌つづみを打ち、きっかけづくりは成功だったと思います。



秋からの仲間づくりでは運営委員会 OG や組合員で結成した「リニューアル盛り上げ隊」と運営委員会 W.Co、地域にチラシを配ってくださる組合員と手を取り合って、イベントやキャラバンなどを大いに盛り上げて新しい仲間（リンゴ）50人を増やし、リニューアルの成功を目指していきます!この『風』が配られる11月は豊かな季節を迎えています。豊穡の季節と同じようにリニューアルの木が赤いリンゴでいっぱいになっていますように。すすき野デポに興味があるという方、新しい仲間をいつでもお待ちしておりますよ~!! (理事 武藤 優子)



## 〜放射能から子どもたちを守るために〜

### リフレッシュツアー開催報告

7/29(日) 藤子F不二雄ミュージアム  
7/30(月) パーベキュー交流会  
7/31(火) くらしてらす交流会、甲状腺検査

今年はいわさき生活クラブと共催で実施しました。初日は藤子F不二雄ミュージアム見学。宿泊地ではパーベキュー、水遊び、星空観察会などを行い、最終日午前はくらしてらすでマジックショーと交流会、午後からの甲状腺検査は参加者みなさんが希望され、盛りだくさんの内容で福島と栃木の組合員親子をお迎えしました。子どもたちは、ともに火を囲み、びしょびしょになって遊んでからぐんと距離が縮まり、虫探しに鬼ごっこ。押し入れをあけると子どもたちでぎゅうぎゅうになっていたり、布団を移動させて怖い話をしたり、おもいきり遊びきっていました。参加者のひとり、家の裏山の線量がいまだに



高く、遊びたがる子どもを止めなくてはいけないと話していました。いっそのこと「忘れて、なかったことにしてしまいたい」不安や対策についてそこに住むもの同士では話題に挙げられないとも言います。不安をオープンに話せて、ともに考える人がいることを示せる場所としてもこのツアーの意義を感じました。ツアーは、復興支援カンパ金をもとに運営をしています。カンパという形の支援原資にたよらない電力の選択など、私たちにできることがあります。事故を二度と繰り返してはならないと強く思いました。(理事 大森 享英)



# 2018 東本郷やさい・草取り隊



無事に終了しました！

5/25、5/31、6/6、6/12

(6/6のみ雨天中止)

組合員参加 71人



JR 横浜線鴨居駅北口改札を出て少し歩くと右手に線路、左手に広い畑が延々と続きます。その一角が組合員が食べている“除草剤を使わない減農薬の野菜を作っている”生活クラブの提携産地『鴨居東本郷』の畑です。

「生活クラブ」ののぼり旗が参加者を出迎えてくれました。今年は4日間『東本郷やさい・草取り隊』を計画しました。この時期は、雑草がイキイキと育ち除草剤を使わないので、除去は人の手で抜くしかありません。しかし、農家が出荷・種まきと大変忙しい時期と重なっており、人手が足りず、広い畑に次々と生えていく雑草を抜くことが大変困難になっています。この現状を知り、消費者である生活クラブの組合員が都市近郊農業を守る活動の一環として開催しています。

生産者の大久保さんから「今年の雑草は成長が早く根が大きく深いので全部引き抜くのは難しいです。無理しないで下さい」と説明がありました。雑草はネギよりも大きく育ち、日光が当たるのを遮っています。

雑草をとるこの作業、目に見える達成感があり夢中になります。休憩を入れ2時間位の作業ですが、あっという間に終了時間。腰を上げて見渡すと、広いネギ畑にはまだたくさんの雑草が…。しみじみ生産者の大変さを実感しました。活動をとおして実地で知ることは、いただいたおいしい野菜とともに、参加者の“収穫”となりました。来年もおおぜいの参加をお待ちしています。  
(理事 山本 千津子)

フォーラム開催のお知らせ！

## 人と人、地域のつながりをつくる

～生きづらさも安心して抱えられる地域をめざして～

年を取って衰える。心や体に不自由がある。人によって生きづらいつとを感じる内容もタイミングも違つかもしれないけれど、そうになったとき、地域の中に助け合いか救いの場があれば元気になれる。今そうした「場」を作って活動している団体の皆さんをお招きして、お話を伺います。基調講演には法政大学法学部の教授でありながら市民団体の代表も務める名和田是彦さんに登壇いただきます。会場は、今年オープンしたばかりの「くらしてらす」。無垢材の香りのする会場の見学も兼ねて、どうぞお気軽にご参加ください。

### ＜プログラム＞

基調講演：「今求められる地域の課題を地域で

なわだよしひこ  
解決する力」名和田是彦教授

活動報告：ボランティアスクール横浜みどりの学校  
ひまわり・街の家族・ピッピ親子サポート  
ネット・ひきこもり当事者グループ「ひき  
桜」in 横浜・財団法人かながわ生き生き  
市民基金

日時：12月1日（土）10時～13時

会場：くらしてらす（市が尾駅から徒歩7分）

申込締切：11/25（託児申込は先着順8組まで）

### 第3回定例理事会報告(抜粋)8月8日

#### 討議事項

- 1.次年度コモンズ・デポ-定例会のあり方と専門委員会・チーム形成について
- 3.市が尾デポ-来所対策について
- 4.電気の共同購入について

#### 報告承認事項

- 1.緑・矢向センター拡大まつり開催計画
- 2.つつじが丘デポ-リニューアルオープン後の理事会支援について
- 5.ヒロシマ代表派遣報告集配布計画
- 6.ユニオン理事会報告

18年8月末組合員	18年8月末供給高
班 745人	班 2,062万円
個配 7,035人	個配 16,494万円
デポ- 9,630人	デポ- 13,426万円
未組織 36人	
合計 17,446人	合計 31,981万円

※8月は組合員人数は確報、供給実績は速報（合計値の誤差は数式の小数点以下の四捨五入から生じています）

選ばれて 13,000 件！「生活クラブでんき」



## 自然エネルギーを選びませんか？



夏の電気の申し込みキャンペーンと合わせて、多くのデポで、生活クラブでんきの共同購入に賛同する組合員同士でアピールをおこないました。「電気のことはよくわからない」「手続きがめんどくさそう」という声もまだまだ多く、伝える難しさを感じますが、そこは同じ組合員同士！耳を傾けてくれ納得して、後日申し込みをしてくださる方もいらっしゃいました。価格は今お使いの電力会社とほぼ変わらず、切り替え手続きも簡単になり

ました。停電の心配もありません。なにしろ自然エネルギーが電源です！昨年から、話題の「会津電力」や「飯館電力」も電気の生産者に加わりました。形は違いますが、「核廃絶国際署名」のように、一人ひとりの小さな力が集まって、やがて世界を動かすような大きな変化を生み出すように、私たちが自然エネルギーを選択することで日本のエネルギーが変わっていくことも夢ではないと感じます。  
(理事 眞壁 尚子)

### 種子法ってなあ〜に？！ 第1弾

昨年から種子法廃止とよく耳にするけれど、正直なところ「種子法ってなに？」廃止と言われてもあまり興味がわかないという人も少なからずいるのではないのでしょうか。お恥ずかしいですが、実は私も初めて聞いた時はそんな一人でした。でも種子法のことを学ぶにつれ、このまま何もしないでもいいものか、一人でも多くの人に関心をもってもらいたいと思うようになりました。ここで日本の種子、農業について一緒に考えていければなと思っています。

種子法の正式名称は「主要農作物種子法」。これは日本の食を支えてきた米などの種子を計画的に生産して供給する責任は国にあると定めた法律です。この法律は2018年3月末に廃止されるまで約66年もの間、日本の食料生産を支えたものでした。現在、日本では300品種以上の米が作られています。その種子はなんと100%完全自給です。

ちなみに野菜は9割が海外産。米の種籾を作るのに4年も要し、地域に合った多様な品種を開発、維持することは手間とコストがかかりますが、この制度により、安価な価格で生産農家に安定提供されていたのです。(理事 稲村 美穂)  
次号に続く・・・

理事長の

にこにこ晴天な日々



アピール下手と言われている生活クラブですが、テレビ東京のカンブリア宮殿がすごくわかりやすく的確に生活クラブを伝えてくれて、どーんと組合員が増えました。男性の加入も。食のことは妻まかせという方が多いと思っていたんです私。でも生活クラブに共感する男性も多いということがわかってとても嬉しかった！先日はダイヤモンド社というビジネスパーソン向けを扱う出版社から生活クラブをテーマにした本の出版の話が持ち込まれ、マスメディアとのご縁が続きます。こちらから売り込んだのではなく、生活クラブの価値を知る人がつながって始まったお話。生活クラブのよさを知る人が増えてつながりが広がると、なにかが生まれるんだなど。人のつながりを人脈という。これ真なりと実感しています。  
(三浦 紀子)

【ラボ・各イベント申込方法】

宛先Email:yokohamakitarijikai@yahoo.co.jp

FAX:045-548-3289

件名を「ラボ・各イベント名」とし、①コモンズ・デポ名 ②組合員コード ③お名前 ④電話番号 ⑤託児希望の方はお子さんのお名前、年齢をご記入ください。

#### <編集後記>

前号はコモンズのための配布。コモンズカタログ実験回収の記事を中心にお届けしましたが、その後たくさんの賛同メッセージをいただきました。

いずれ実験経過報告の記事とともにメッセージの紹介をしたいと思います。いまのところ回収率は7割超。配達担当も汗をかきながらがんばっています。

全域取組みをめざし、順調に進んでいます。